

①自己点検アンケートから（とても思う…1 思う…2 あまり思わない…3 思わない…4 として平均値を算出。「分からない」は平均値に含まれない。中央値は 2.5）

	主に教育課程・学力向上【研推】	特別活動・体力向上・学び舎【特活】	生活指導・地域連携・教育相談【生活指導】	重点目標・勤務等【企画会】
上位項目	4 5 児童の学習状況や道徳性の係る成長の様子を把握し評価している。 2 7 チャイムを守り、時間を大切にして授業を進めている。 4 4 年間計画に基づき、道徳の指導を行っている。 3 6 年間計画に基づいて総合的な学習の時間を計画的に進めている。	4 7 係・児童会・クラブ活動において児童の創意工夫を活かした指導をしている。 3 学校は児童の人間関係力・社会形成能力を育成している。 4 8 児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができています。	5 6 学校の特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会が機能している。 7 3 毎月の安全点検を活用し、校内の安全を確認している。 3 7 生活指導上の問題・課題に対して組織的かつ迅速に対応している。	8 3 指導要録等の記入（4 月・3 月、転出入）、点検・管理が適切に行われている。 7 8 予算の執行が適切に行われている。 8 2 C4TH 等を使い、児童の個人情報適切に管理している。 2 0 各教科の授業時数を把握し、授業を進めている。
下位項目	※今年度は、課題数値になるものがなかったので、それぞれの最下位項目のみ記載。（参考）			
	7 0 私は世小研等の研究・研修会に積極的に参加し、指導力向上につとめている。	5 2 食育の推進に計画的・組織的に取り組んでいる。	7 5 児童や保護者の訴えに対して細やかに対応し、不登校案件にはチームで対応している。	6 1 各分掌の内容・業務内容が明確になっている。

②学力調査から

現状

・国の学力調査は、国語、算数 理科どれも上位層が多い。また、国、都の平均値共に上回っている。
基本的な学力が定着している。
・学年が上がると学習の格差の問題も出てくる。下位層を丁寧に指導していく。

➡

○引き続き学校の授業のできる学び合いの場を大切にしていく。また、意見交換や話し合いなどの機会を設け、表現活動の充実を図る。また、基礎基本を疎かにせず、下学年からの系統だった学習指導に組織的に取り組んでいく。
▼学習を苦手とする児童の補修や習熟度別指導を継続して行っていく。

③新体力テストから

現状

・昨年より記録が低下している種目が多い。運動能力の低下傾向が伺える。

➡

運動時間を確保したり、外遊びを励行したり、体を動かすことは継続的に取り組んでいるところであるが、習い事の多忙さ、遊びの変化（ゲーム、ユーチューブ等）により、個々の身体能力が低下していることが看あげられる。学校でも意識して取り組んでいくと共に、家庭にも呼び掛けていく。

④児童アンケートから

	1～4年	5 6年
上位項目	① 友達となかよくできる。（平均 93.4％） ② 先生たちは勉強が分からないときに丁寧に教えてくれる。（平均 88.5％） ③ 学校生活は楽しい。（平均 86.7％） ④ タブレットを使う学習は、学ぶことに役立っている。（平均 86.8％） ⑤ 学校行事が好き。（平均 8 3％）	① 友達と協力したり、助け合ったりできる。（95.4％） ② 友だちとなかよく生活している。（94.9％） ③ 学校行事は好き。（93.8％）※「とても思う」が一番高い設問 ④ 先生たちは意欲を大切に、ていねいに教えてくれる。（90.8％） ⑤ 学校生活は楽しい。（91.2％）
下位項目 否定的回答	※特記するような数値の下位項目はなし。 4 学年が全体的に「どちらともいえない」の回答が多い。	① 図書室の本を読んだり、学習で本を活用している。（27.7％） ② 積極的に身体をうごかしている。（2 1.4％）

➡

総じて…（昨年と傾向は同じで、前向きに学校生活を楽しめている様子がうかがえる。学校生活には概ね満足して過ごしている様子。また、教員の学習指導も肯定的に映っている。）
○友達と仲良くできる。
○行事は楽しい。
○友だちとのかかわりを楽しみ、学びの質を向上させようとする気持ちがある。
▼体を動かすことに関しては、学年が上がるにつれて、消極的な姿勢が見られる。（体力テストとの関連。）

⑤保護者アンケートから

上位項目	① ホームページやメールの配信、学校だより等で学校の教育活動の様子が分かる。(95.2%) ② 学校行事は児童にとって楽しい。(94.8%) ③ 学校行事は児童にとって達成感がある。(92.7%) ④ 本校の児童は学校生活を楽しんでいる。(91%) ⑤ 本校の教員は丁寧に指導している。(90.2%)
下位項目 否定的回答	① 児童が将来について考える授業がある。(30.2%) ② 児童は読書をしたり、学習で本を活用したりしている。(25.0%) ③ 授業の中で使用するタブレットは、児童の学びに効果的に活用されている。(17.8%) ④ 学び舎の活動について知っている。(14%)
「わからない」 が多い項目	△児童が将来について考える授業がある。(17.1%) △児童は目標をもって生活している。(10.6%)



総じて… ○ホームページの更新頻度が高く、保護者に学校生活の様子がよく伝わっている証。 ○学校行事に関しては、肯定的回答が高いものが児童と同じ傾向がある。児童の活動が充実している様子や成長を感じられる姿が保護者にも伝わっている。 ○学校行事に関する肯定的な回答が非常に高い。(毎年、安定して高い数値) ○学習指導には、一定数の信頼をおいている様子が伺える。 ▼キャリア教育の機会は様々な教育活動を通して行っているが、保護者には伝わりにくい内容もある。「将来の夢、職業」というイメージが強い。 ▼読書の機会は多いが、学習への活用は見えにくい。 ▼ipad を使用する機会は多いが、その反面情報モラルや端末の正しい使い方には指導が必要な場面が多くある。 △キャリア教育がどのように学校で行われているか分からない。 △学び舎の活動が行われているか分からない。 →昨年度より、否定的回答がかなり低くなっている。活動が保護者にも見えてきている。

⑥地域アンケートから

上位項目	① 児童は、交通ルールなどきまりを守っている。(100%) ② 児童は生き生きと生活している。(100%) ③ 学校からのお知らせにより学校行事や学校、児童の様子が分かる。(90.9%)
下位項目 否定的回答	① 学び舎の様子が分かる。(36.4%) ② 事前の準備や当日の案内などで地域への配慮がある。(27.3%)
「わからない」 が多い項目	△学校の教員は協力して教育活動に取り組んでいる。(9.1%)



総じて… ○本校の教育活動を肯定的に捉えていただいている。 ○地域の方にも教育活動を参観していただく機会が増え、その様子が伝わっている。 ▼教員自体の動きや校内の職員体制の全体像は、地域には見えにくい。
--

⑦重点目標について

やさしい京西の子ども～思いやりをもち人の役に立ち、自己実現できる子～	かしこい京西の子ども～探究的な学びができる子・論理的に思考できる子～	げんきな京西の子ども～健康で運動が大好きな子～
【児童】「友達と仲良くできる」の自己評価は全学年で高い。交友関係に満足できている児童が多い。 「友達と協力したり、助け合ったりできる」への肯定的回答。様々な場面で実感がもてている。また、高学年でもその数値が高いのは、継続した活動や望ましい人間関係の構築ができている児童が多いと捉えられる。 【教師】「児童はさくら組活動等の異学年交流で、思いやりの心をもち、仲良く遊ぶことができています。」と捉えており、さくら組活動を充実させてきた成果が昨年同様得られている。 「学校は児童の人間関係力・社会形成能力を育成している」に対しても肯定的回答が多く、学校社会での一員として活動できる児童の育成を意識できていることが分かる。 【保護者】「友達と協力したり、助け合ったりしている」 89.4% 「校長をはじめ教職員は、学校の重点目標達成に向けて協力して教育活動に取り組んでいる。」 89.2%	【児童】先生は分からないことを丁寧に教えてくれる。 →分からないことをそのままにしないようにしていることが分かる。 授業で皆で話し合ったり、意見を発表しあったりすることで学びが広がっている。(5・6年)→学び合いの気質が育ち、積みあがって。 【教師】校内研究やOJT 様々な学習活動を通して、児童の思考力・判断力・表現力の育成を目指している。96% 学校は、児童に基礎学力が身に付くように学習活動を進めている。100% 【保護者】「授業で皆で話し合ったり、意見を発表しあったりすることで学びが広がっている。」 90.2% 「児童は意欲的に学んでいる」 88.1% →教員は児童の学びが充実したり、基礎学力定着のための授業づくりや創意工夫に努めており、それを児童や保護者が肯定的に捉えている。	【児童】自分からすすんで運動する児童 81.9%(1～4年)、77%(5,6年)→昨年度より上がっている。特に1～4年は11%上昇 【教師】体育朝会や集会で運動啓発を意識的にしている。めあてカードなどを作成し、楽しむ中にも正しい技能を身に付けられるように意識して指導している。昨年同様継続。 【保護者】積極的に身体を動かしている。77.6% →体力向上に関しては、引き続きの取り組みが必要。個々では、運動の機会が取れない児童や苦手意識をもつ児童が置き去りになるので、学校全体の取り組みを強化して推進していく必要がある。